

📍 国道 354 号古河境バイパス整備計画図



新 4 号国道から圏央道境古河 IC 間をより便利に

# 国道 354 号古河境バイパス 早期開通に向けて大臣要望

平成 30 年度に事業化された「国道 354 号古河境バイパス」の早期開通に向けて、橋本町長を筆頭とする要望団が国に対して整備促進に関する要望活動を実施しました。

災害時の重要なライフラインとしても期待



赤羽国土交通大臣への要望活動を実施

【要望団】  
 期成同盟会 橋本正裕会長（境町長）、針谷力副会長（古河市長）  
 議員 連盟 半村登会長（茨城県議会議員）、倉持功副会長（境町議会議員）、園部増治副会長（古河市議会議員）、森田悦男幹事長（茨城県議会議員）、飯田進幹事（境町議会副議長）ほか境町議会議員 7 名、古河市議会議員 5 名  
 国会議員 永岡桂子衆議院議員、岡田広参議院議員、上月良祐参議院議員

令和元年11月18日、国道354号古河境バイパス整備促進期成同盟会（会長：橋本正裕町長）と、国道354号古河境間整備促進県市町議員連盟（会長：半村登県議会議員）が合同で、平成30年度に事業化された古河境バイパスについて国の要望活動を実施しました。

要望団は、国土交通省を訪れ、赤羽一嘉国土交通大臣および池田豊人道路局長と面会、橋本会長が、「昨年発生した台風第19号及び第19号に係る災害について、地元自治体の管理する道路についても多くの箇所で冠水被害が発生し、圏央道も強風等の影響により通行止めとなるなど、各地で道路交通網が混乱する事態となり、改めて国道354号古河境バイパスの必要性・重要性を認識しました。特に、台風第19号では大雨により利根川が非常に危険な状態であったため、広域避難の実施や市町間の連携を図るなど、発災時にもとより、交通ネットワークとして地域の発展には欠かせない道路です」と伝えると、半村会長も「新4号国道につながる地元にとっても重要な道路です」と付け加え、要望団の熱意を伝えるべく、地元議員も一丸となり、国道354号古河境バイパスの早期開通に向けた整備促進に努めていただくよう要望書を提出してきました。

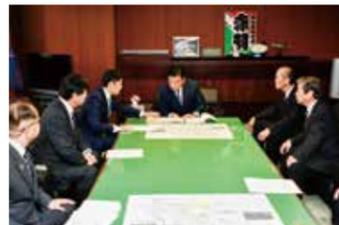
国道354号古河境バイパス 開通により新4号から圏央道 境古河ICが直通になります

## 国道 354 号古河境バイパスの整備促進に関する要望事項

- 令和2年度の予算編成にあたっては、物流ネットワークの強化や地域の活性化を図るための道路整備に必要な予算の拡充・増額をお願いします。
- 近年激甚化する災害に備え、ダブルネットワークの構築を含めた支援体制充実などを図る「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」への重点配分、さらに令和3年度以降の予算確保をお願いします。
- 橋梁の老朽化対策など構造物の修繕・更新を確実に推進できるよう、法定点検を踏まえたメンテナンス予算確保に新たな財源制度や別枠予算による重点化をお願いします。
- 国道354号古河境バイパスは、新4号国道と圏央道境古河インターチェンジを直結する極めて重要な道路であるため、全線の早期開通に向け十分な事業費を確保したうえで更なる事業の促進をお願いします。



池田道路局長へ要望書提出



赤羽国土交通大臣への要望概要の説明



池田道路局長への要望概要の説明

赤羽大臣からは、「災害時のライフラインということで、しっかりとやっていきたい。地元の皆さんの反対が起こると止まってしまうので、用地買収を順調に進めてもらいたい」と力強い返答と助言がありました。

また、池田道路局長からも早期開通に前向きな回答をいただき、国土交通省に対して地元の熱意が伝わった要望活動となりました。

なお、要望書については、国土交通省幹部、道路局幹部及び関東地方整備局幹部並びに麻生太郎財務大臣及び財務省幹部宛にも提出しています。

町では、今後も県や国への要望活動を継続的に行い、国道354号古河境バイパスの1日も早い開通に向けて、尽力していきます。